

トゲチヨ

第5号

発行：会津南部地区管理体制整備推進協議会
 会津南部土地改良区連合
 会津中央土地改良区
 会津大川土地改良区
 阿賀川土地改良区

TEL: 0242-56-3030 FAX: 0242-56-3080

宮木幹線用水路・白山沼・富川幹線水路の親水公園

クリーン大作戦



水路周辺のゴミ拾い



水路清掃



イトヨの勉強会



水質検査

会津美里町川原町地区と瀬戸町地区の宮木幹線用水路、会津若松市北会津町の白山沼、会津坂下町の富川幹線用水路の親水公園において、「クリーン大作戦」が開催されました。このイベントは農家と非農家及び各種団体の皆さんが一体となった維持管理を目的として開催されました。

①宮木幹線用水路・川原町地区

平成23年6月11日(土)

3年目のイベントは、40名の参加があり、水路周辺の草刈りとゴミ拾いを実施し、ヒマワリの苗150本を隣接する水田に植えました。終了後、生き物調査とカワニナの放流及び簡易の水質検査も実施しました。

②宮木幹線用水路・瀬戸町地区

平成23年6月11日(土)

恒例となりつつあるイベントですが、60名の参加があり、水路清掃後、水車の公園の草刈りとゴミ拾いを実施し、花壇にはサルビアや日日草を120苗を植栽したのは、初めての取組で素晴らしい景観を形成できました。併せて、カワニナの放流と簡易の水質検査も実施しました。

③白山沼と公園

平成23年6月19日(日)

「トゲチヨ★チャレンジ」は、荒館、川南小学校の児童で構成された団体で他団体と併せて30名の参加がありました。白山沼に生息するイトヨは県の天然記念物に指定されており、水環境と白山沼を守る意識を高めるために、平成20年より非農家及び地域住民が土砂揚げ、空き缶、ゴミ拾いなどボランティア活動を行っています。

④富川幹線用水路の親水公園

平成23年7月3日(日)

親水公園清掃後、子供達に「改良区の仕事内容の理解」と「水と水路の大切さ」を伝え併せて、阿賀川非出資漁業組合ともタイアップし、生態系の話も交え、「自然」の大切さも勉強しました。水質検査をし、公園脇の花壇に植栽、最後に魚のつかみ取り。親子で楽しい一時を過ごしました。イベント実施中、参加者との会話で「また、来年も開催してほしい」、「改良区の仕事が少しは理解できた」など、多くの賛同を得ることができ、かなりのイメージアップに繋がり、大変有意義なイベントだったと思います。

～題名「トゲチヨ」名前の由来～



トゲチヨ

イトヨは、トゲウオ科のイトヨ属の一種で夏でも水温20度を超えない湧き水が必要であり、この辺りではトゲチヨと呼ばれ、一年あまりの寿命である。トゲチヨのように皆さんの水路や自然を大切に思う気持ちがさらに広がってほしいという願いを込めて名付けました。

会津中央土地改良区で「トゲチヨ」のパンフレットを利用し地域住民に水の大切さや地区での奉仕活動が施設管理につながっていることの説明会を開催した。



管理所内での説明



「にこにこ堂畑」への説明

表紙や上記で紹介した色々なイベントを通して、土地改良区の役割仕事の内容や農業用水路について説明することにより、水の大切さやこの水はどこから来てどのように利用されているのか、多くの人にPR活動をしています。

そのことにより、水路と水の関わりについて理解してもらい生活の中でも重要な位置に取り上げられてもいますので、それらを紹介いたします。

農業用水路のいろいろな役割

馬越、富川頭首工

農業用水路は田んぼや畑に水をとけるだけでなく、ほかにもいろいろな働きをしている。みんなのくらしの手助けをしたり、生き物や植物の生態系の保全に役立っている。水と親しめる場やいこいの場になったり、みんなで大事に守り育てていこうね。



た 田んぼや畑などに、水をとどける

水路が国土のすみずみまでにはりめぐらされているから、ため池や農地にも、きちんと水がとどき、作物が実る。お米や野菜がじゅうぶんとれて、おなかをすかせる心配がないというのは、幸せなことだね。



みず ゆき はい すい ろ 水や雪の排水路になる

くらしの中で使われた水や雨水、雪かきや雪おろしをしてどっさりあまった雪などの排水路としても大活躍。ゴミなどを水路に捨てていく人もいるけど、水路や用水を汚したり、ふさいだるようなことは絶対にやめようね。



みず した ば 水と親しめる場や、いこいの場になる

水と親しめるよう、さかなとりをやったり、ゴミひろいをしたり、コイやカワニナを放流して、水辺を親水公園にしているところもあるよ。歴史的なかんがい施設や景色のきれいなところを見てまわる「水の名所めぐり」も楽しいね。



し ぜん かんきょう 自然環境を守る

水田に降った雨は用水路を通して川や地下にもどっていく。ゆったりと大地をうるおす、この水の循環のおかげで、都市の飲み水も安定してまかなえるんだ。また用水路や水辺はたくさんの生物、植物のすみかになるね。



せい さん ば 生産の場になる

ミニ水力発電、魚を養殖する、昔ながらの水車をまわすときに役立つなど、用水路は、いろいろな分野でさまざまなものを作り出しているんだ。



まつ ば お祭りやイベントの場になる

水の神様のお祭りは各地に残っているし、とうろう流しやホタル祭りは、用水路のゆったり静かな流れがあるからできる、季節の風物詩。ほかにもいろいろな水辺イベント、環境について学べる勉強会のなどがあちこちでひらかれているね。



くらしにやく だ くらしに役立つ

野菜などを洗うのに農業用水を利用したり、水をためておいて、火事の時に火を消す防火用水として使ったり、冷たくして食べたいもの、保存したいものを冷やしたり。いろいろと役立っているね。





第8回水土里ネット健康施設めぐりウォーキング開催

◎第8回水土里ネット健康施設めぐりウォーク

日 時 10月30日(日) 小雨決行 午前8時30分から正午まで

集合場所 本郷運動場

コース 本郷運動場～水車の公園～本郷発電所～御用地分水庭～本郷運動場

当日の持ち物 ・飲料、帽子、雨具、タオル、敷物等

・先着100名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

※土地改良施設3箇所をチェックポイントにし、約7kmのコースを設定いたします。

老若男女問わず、誰でも気軽に参加できます。

詳しくは、水土里ネット会津大川 (Tel 0242-56-3030) まで連絡下さい。



みんな集まれ!
老若男女
個人・団体
問わず

参加者募集中!!

施設めぐり健康ウォーク



★昨年のウォーキング風景★



編集後記

今回、イベントの取組状況を報告いたしました。農業に関係しない地域住民は、農業水利施設の存在や土地改良区という組織をそもそも認識していない場合が多い。このため、まずはダムや水路などの施設見学会、ウォーキングなど、イベント的な取組を通じて、その存在について認識してもらうことが有効である。イベント的な取組のメリットは、一度に多くの対象者に対して広報効果が期待されるが、一方で一過性のものとならないよう、地域の恒例行事としてのイベントとして企画するなど、継続性もたせる工夫が求められる。また、継続的な取組により、参加者や理解を示す人の輪を広げることができるはずです。(大)

宛先

※ご意見ご希望

会津南部地区管理体制整備推進協議会
 (福島県・会津若松市・湯川村・会津美里町・会津坂下町)
 事務局 〒969-6101
 大沼郡会津美里町字駅前2616
 会津大川土地改良区(水土里ネット会津大川)
 電話 0242-56-3030 FAX 0242-56-3080
 Eメール aizuooka@atlas.plala.or.jp